

## 第 2 回第 1 分科会の意見に対する修正案等

## ● 1-1 市街地・住環境

意見	修正案等
<p>2 つ目の現状として、「スマートインターチェンジの開通を契機に周辺地域の開発ポテンシャルが高まることが予想されます。」とあり、その課題として「周辺環境に配慮した、計画的な土地利用の誘導が求められます。」とあるが、計画的な土地利用というものが、拡大市街地なのか、既存の市街地のことを言っているのか、どういったものをイメージしているのか、土地利用計画図との整合性が分からない。</p>	<p>現在、策定中の第 4 次都市計画マスタープランでは、刈谷スマートインターチェンジ周辺を、刈谷ハイウェイオアシスをはじめとする様々な地域資源を活用し、多くの人が訪れ、多様な交流が育まれる拠点として位置付けることを予定しています。</p> <p>刈谷スマートインターチェンジ周辺における計画的な土地利用とは、総合計画で掲げる将来都市像の実現に向けた将来都市構造の下、無秩序な市街地開発を防ぎながら、市内外から多くの人が訪れる交流の拠点としてふさわしい土地利用を誘導することをイメージしております。</p>
<p>「113 住環境の充実」①に「安全性」を追記した方が良い。</p>	<p>ご意見を踏まえ、「市営住宅の建替えや改修などを進め、<u>建物の安全性</u>や入居者の居住性を高めます」に修正します。</p>
<p>都市マスで話すべきであるが、立地適正化計画の中では、コンパクトシティ+ネットワークのまちづくりが謳われている。これは本来、公共交通沿線へ居住を誘導して、負のスパイラルで減便が続く公共交通の利便性を高めたり、持続可能なものに</p>	<p>土地利用計画では、集約・連携型の都市構造の構築を進めることとしており、「1-1 市街地・住環境」の「111 計画的な土地利用」①において、鉄道駅やバス停などの交通結節点を中心とする地域は、その地域の特性や規模に応じた機能の維持・集積</p>

意見	修正案等
<p>する観点が入るべきであるが、現行の立地適正化計画ではその観点が入っていないと読み取れた。一方で、都市交通戦略では、南北線のバス路線の運行間隔を終日 30 分以内を確保すると太字で強調されている。現状、南北線に相当する路線は、刈谷駅以南は開設すらされていない。愛教大・刈谷駅間の利用者が伸び悩み、今では平日愛教大行き 7 便/日、刈谷駅行き 8 便/日の状況である。少しでも利便性の高いエリアを創出するのであれば、南北線沿線のように、公共交通を維持するための居住誘導を行うという観点が入っていない。</p>	<p>を図ることとしています。こうした地域に都市機能を集約することで居住誘導を図り、これらを相互に結びつけ持続可能な都市構造を構築することは、コンパクトシティ+ネットワークの考え方であり、公共交通の維持という観点もこれに含まれております。</p>

● 1-2 道路・交通

意見	修正案等
<p>将来都市像で「人が輝く 安心快適な産業文化都市」と掲げるのであれば、「めざす姿」に「快適」という文言を追加した方が良い。</p>	<p>ご意見を踏まえ、めざす姿の一つ目を「市民が多様な移動手段を選択でき、誰もが安心安全かつ<u>快適</u>に移動できる交通移動環境が形成されています。」に修正します。</p>
<p>産業は刈谷市の強みである。スマートシティ研究会の中でも議論されていて、今後様々な先進技術の実装が期待されるので、「めざす姿」の中に「先進的」という文言が追加されると</p>	<p>「めざす姿」を実現する上で 121③にあるような「先進的」な「手法」は想定しております。「先進的」という言葉は取組や手法を修飾する表現であり、「めざす姿」は取組や手法導入</p>

意見	修正案等
より良い。	後のアウトカムの姿であるため、「めざす姿」において「先進的」という修飾はいたしません。
「121 総合交通体系の構築」②の中に、自転車の交通ルールの周知徹底、教育などのソフト面の内容も含まれると良い。	交通ルール等にかかる対応は、「472 交通安全対策の推進」①にて記載しています。なお、交通安全は歩行者やドライバーにもかかる内容であるため、自転車のみを頭出しはしません。
「124 公共交通の利便性向上」①の中で、市内の交通は「かりまる」に限定するのではなく、名鉄バスやデマンド交通などを含めて望ましい公共交通体系を構築することが必要であるので、「かりまる」や「バス」に限定する表記は改めた方が良い。	ご意見を踏まえ、124②を削除し、124③を124②に改め、124①を次のとおり修正します。  「刈谷市公共施設連絡バス「かりまる」の充実や近隣自治体との連携強化、 <u>民間活力を活用した公共交通機能の導入や支援を推進し、地域の特性に応じた利便性の高い公共交通ネットワークを形成します。</u> 」
要望のような話になるが、スマートシティ研究会の資料を見ると、プロジェクトの中で、「企業社員送迎バスとの共同運行と新技術の技術検証」を掲げ、トヨタグループ各社の送迎バスの共同運行を検討するとのことである。企業の送迎バスと市民が乗車する一般的なバスの発展的な統合は望ましい姿だと考えるので、ぜひ検討していただきたい。	ご意見としていただきました手法も含め、スマートシティ研究会にて、その実現可能性を研究してまいります。なお、企業の送迎バスは、社員の通勤手段として自家用車から公共交通への転換に大きく寄与していると認識していますので、今後も121①の内容に基づき、総合交通体系の構築の一環として、企業バスの連絡調整に取り組んでいきたいと考えています。

意見	修正案等
<p>一つ目のKPI「日常（通勤・通学や買物など）の移動手段として自転車や公共交通機関の利用を心がけている市民の割合」の中で、「利用に心がけている」といった気持ちの面が指標として設定されている。できれば、「交通分担率」のような、実際の「行動」に則した指標の方が良いと考える。第7次総合計画では「自動車以外の交通分担率」も指標として設定されていた。</p>	<p>ご指摘の指標は過年度から調査しているものであり、行動変容が生まれる兆候や傾向をつかむことができるものであることから、今後も継続して設定していきたいと考えております。</p> <p>一方で、ご意見いただいた交通分担率についても重要なデータであると考えておりますので、「刈谷市都市交通戦略」を改訂する際に改めて調査をさせていただく予定です。</p>

● 1-4 治水・水辺環境

意見	修正案等
<p>「141 河川施設等の改修」⑤に、「災害時にリアルタイムで現状が把握できるように、～」とあるが、データや映像を市民にもリアルタイムで提供されるような環境をつくってほしい。</p>	<p>現在、市内を流れる主要な河川には、ライブカメラが設置されており、県や(株)キャッチネットワークのホームページでリアルタイムに河川の状況を確認することができます。また、水位の情報については、国や県のホームページで確認することができますので、引き続き、これらの防災情報の閲覧方法等について市民の皆様にも周知を図ってまいります。</p>

● 2-2 生涯学習・青少年教育

意見	修正案等
<p>「生涯学習」の定義を用語解説した方が良い。意外と定義を分かるようで分からないと思う用語のため。</p>	<p>ご意見のとおり、用語解説に追加します。</p>
<p>「222 学習活動の支援」④の中で、「多くの学習施設」と出てくるが、何を指すのか。生涯学習施設のことか。</p>	<p>222④は「生涯学習施設」に限定した意図はございません。図書館や歴史博物館などの学習ができる環境を備えた施設全般を含めて環境整備の重要性を認識しています。</p>

● 2-3 スポーツ

意見	修正案等
<p>「めざす姿」の文章が「する」スポーツの観点にしか読み取れない。スポマスでは「する」「みる」「ささえる」ことがスポーツと示されているので、「めざす姿」で全側面を踏まえて記載すべきである。</p>	<p>ご意見を踏まえ、「めざす姿」の説明文を「<u>スポーツに親しむ</u>環境や体制、施設が整っており、～、目的に応じて気軽に<u>スポーツを楽しんでいます。</u>」に修正します。</p>
<p>5つ目の現状に関連して、ホームタウンパートナーの一つであるシーホース三河が今後、安城市にアリーナを設けてしまう。このことは、刈谷市のスポーツツーリズムの観点からも打撃は大きいと感じている。こうした市外への流出を防ぐためにも、アリーナを新たに建設するという訳ではないが、広い意味</p>	<p>ご意見を踏まえ、課題を「<u>トップアスリートとふれあう機会</u>の創出や<u>環境整備</u>、<u>スポーツを通じた～</u>」に修正します。</p>

意見	修正案等
<p>で課題の中に「環境整備」という文言が入っても良いのではないかな。</p>	
<p>東京五輪で話題を呼んだような、若い世代の方が行うスポーツ（New スポーツ）に関して何か付け加えることがないのか。市民のニーズ、とりわけ若い世代のニーズを汲み上げて検討してはどうかと感じています。</p>	<p>最近ではスケートボードやブレイクダンス、パークールなど多くの種目がスポーツの分野にカテゴライズされるようになってまいりました。その他にもスラックラインやスポーツチャンバラ、ペタンクなど、ニュースポーツに該当するのではというものが40種類ほどあります。そういった状況にありますので、市民ニーズを踏まえながら種目ごとに適時適切な判断を行っていくのが適当と考えています。</p>

● 2-4 歴史・文化・観光交流

意見	修正案等
<p>刈谷市は熱心に取り組んでいる分野だとは思いますが、現状、上手くいっていない印象を持っている。市内には、㈱デンソーのデンソーギャラリーや㈱アイシンのアイシンコムセンターのほか、最近ではトヨタ紡織㈱の歴史未来館といった企業博物館が存在する。特に、愛知製鋼㈱のトヨタ創業期試作工場が国の登録有形文化財に指定されており、刈谷市にとっても重要な観</p>	<p>ご意見のとおり、トヨタ系企業の本社が多く集積することは本市の強みであり、こうした企業の歴史や最新技術にふれることのできる場合は、他自治体にはない貴重な地域資源と捉えています。</p> <p>こうした本市の特色を踏まえ、企業との連携を含めた検討は「244 観光交流の推進」③の中に包含しておりますので、ご意</p>

意見	修正案等
<p>光資源だと感じている。これらは一般公開されている施設であり、観光協会も一定のPRを行っているが、残念ながら、全ての施設が土日休館である。市外の方はおろか、市民ですら訪問が難しい施設となっている。他自治体に対して差別化できる資源は自動車関連産業をはじめ、企業スポーツや依佐美送信所だと思う。民間所有を含む資源・強みを活かす施策を実施してほしい。市として所有しているものではなくても、連携して、土日にも開館してもらい、市民の方などに訪れてもらえるといいまちになるのではないかと考える。</p>	<p>見を踏まえて、「<u>幅広く地域資源を有効活用した誘客促進を図り、広域連携などにより交流人口の拡大に努めます。</u>」に修正します。</p>
<p>「242 文化財の保護・伝承」①の中で、「歴史博物館を中心に文化財の保存・管理を行うとともに、その調査研究を進めます。」とあるが、「調査研究」ではなく、一層の情報発信を強化すべきである。市民とのつながりがなかったら歴史博物館が忘れ去られてしまう。これは、図書館でも言えることだと思う。</p> <p>「自らが情報発信していく」というような文言があると良い。</p> <p>「243 歴史文化の普及・啓発・活用」③でPRについてふれているが、ブース出展だけでは十分ではない。若い人、高齢の人、それぞれの市民のニーズに合った情報発信に心がけなければ</p>	<p>調査研究結果の情報発信の方法の一つとして企画展や講座を開催しておりますので、「243 歴史文化の普及・啓発・活用」①を「<u>多くの市民に郷土の歴史や文化に親しんでもらうため、企画展などを通じて、歴史文化の普及・啓発活動を展開します。</u>」に修正します。</p> <p>また、243③に記載する方法はあくまで一つの例ですので、PR方法については、当該施策のほか、全ての基本方針別計画に共通するマネジメント方針の(4)「戦略的な情報の発信・収集」に基づき、多様なメディアの活用も含めて、市民の皆様が知り</p>

意見	修正案等
<p>ならない。</p> <p>マンガのように、観光はちょっとしたきっかけで爆発する。多様なメディアと連携して情報発信を仕掛けていくことも良い。メディアを活用して、広く、そして多く情報を発信することで、刈谷の意外な魅力が多くの方に知られるのではないか。</p>	<p>たい情報を効果的かつ的確に発信してまいります。</p>